

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和4年3月11日

事業所名 児童発達支援 もくもく

保護者等数(児童数) 34 回収数 33 割合 97%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	1		2	・いろいろな活動場所が設けられている ・少し狭い印象がある	・スペース拡大を検討中
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	32	1			・今日いる先生の表示をしてほしい ・実際の現場を見てみたい	・玄関に写真提示を検討 ・オンライン参観を検討中
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	30			3	・子どもにとって分かりやすい工夫がされている ・どの部屋で何をするのか子どもが見て分かりやすい工夫がされている ・家庭でも取り入れやすいようなやり方で子どもが自分で発信できる仕組みになっているので助かる	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33				・きれいで心地いい ・清潔 ・いつも整理整頓をされており過ごしやすそう	
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	33				・丁寧に作成されている ・親の困っていることを理解して計画に組み込んでいる ・保護者の希望を丁寧に聞いてもらえる ・子どものペースで計画されているので子どもも取り組むのが楽しそう	
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	32			1	・行われていると思う	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	33				・いろいろな活動を本人も楽しくできている	
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	30			3	・分からない部分がある ・同じ内容でも少しずつ配置を変えるなど工夫してくれている	・活動によっては、ご家庭でもできるようにプログラム配布を検討
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	20		4	9	・契約時に丁寧に教えてくれた	
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32			1	・契約時に丁寧に教えてくれた	
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	31		1	1			

保護者への説明等	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	24	1		8	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか	32			1	・月に1度の面談時や迎えの時に連絡帳を通していろいろ教えてくれる ・以前と比べてできるようになったこと等、迎えの時に教えてくれる
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	1		2	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	10	4	8	11	・コロナが落ち着いたら参加日希望 ・個人的には必要としていない
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されるとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	31			2	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32			1	・配慮されている
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	25	3		5	・ホームページで写真を見るのが楽しみ ・定期的に活動報告を行います
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	29			4	
	非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	1	2	11
21		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	2	1	13	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	33				・先生や友だちに合えるのを楽しみにしている ・概ね楽しんでいるが時々通所を嫌がることもある ・行くのを楽しみにしている ・以前はぐずることが多かったが「一人で行く」張り切って運ってくれるようになった ・もくもくの日と伝えたと「もくもく行くー」と言ってくれるようになった ・迎えに来た時の子どもの表情が明るい ・道中に「せんせい、せんせい」と言って喜んでる ・今後も楽しく通所をしていただけるよう、職員一同精進してまいります
	23	事業所の支援に満足しているか	33				・先生がいつもにこやかで優しく接してくれる ・いつも子どもに寄り添ってくれる ・先生の丁寧な対応と暖かい笑顔に元気をもらっている ・先生方が温かくて支援もしっかりしてくれるの決めてよかった ・いつも細やかな配慮をしてくれる ・アットホームで心が和む ・今後もより一層、丁寧に対応、取り組みをしていきます

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶことで、子どもが適切な行動を獲得することを目標としています。